

## 授業科目 身体障害作業療法評価学実習

【担当教員名】 大山峰生・貝淵正人	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## 【一般目標：G10】

身体障害における作業療法評価法を身につける。疾患ごとの検査を習得する。

## 【行動目標：SBO】

1. 身体障害作業療法における評価の意義について説明できる。
2. 一般情報収集の意義および面接、観察の要点を説明し、実施できる。
3. 体表面から触診可能な主要組織を触診できる。
4. 評価基準に基づき各評価を適切に実施することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
			実習	能登	大山
1	身体障害における作業療法評価総論、一般情報収集の意義、面接、観察手法	1, 2	実習	能登	大山
2	関節可動域検査方法(上肢)	3, 4	実習	能登	
3	関節可動域検査方法(手指)	3, 4	実習	能登	
4	関節可動域検査方法(体幹、下肢)	3, 4	実習	能登	
5	表面解剖・触診・筋力検査方法(上肢)	3, 4	実習	大山	
6	表面解剖・触診・筋力検査方法(上肢)	3, 4	実習	大山	
7	表面解剖・触診・筋力検査方法(手指)	3, 4	実習	大山	
8	表面解剖・触診・筋力検査方法(下肢)	3, 4	実習	貝淵	
9	表面解剖・触診・筋力検査方法(下肢)	3, 4	実習	貝淵	
10	感覚・知覚検査方法と結果解釈	4	実習	貝淵	
11	感覚・知覚検査方法と結果解釈	4	実習	貝淵	
12	深部反射・病的反射検査方法と結果解釈	4	実習	濱口	
13	脳神経検査方法と結果解釈	4	実習	濱口	
14	脳神経検査方法と結果解釈	4	実習	濱口	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ダニエルズ新・徒手筋力検査法	Hilop, H. J他	協同医書出版社	2003年 6500円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他	南山堂	2004年 7200円
	身体機能評価学	岩崎テル子	医学書院	2005年4月出版予定
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、レポート、期末試験	【履修上の留意点】 受講にあたり、骨、筋、神経系を中心とした解剖学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。
------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------